

日韓露航路活用 境港で初荷祝う

松江・小松電機産業

倉庫や工場で使うシート
シャッター製造大手の小松

電機産業（松江市）が、境港と韓国・東海、ロシア・ウラジオストクを結ぶ定期

貨客船を活用して韓国からの部品輸入を始めた。第1便が境港国際旅客ターミナル（境港市昭和町）に到着

した3日、荷受け式が催された。関係者らが初荷を祝った。写真。

小松電機産業は、1973年創業。85年に高速で自動開閉するシートシャッター「門番」を発売。年間5



千台を販売し国内シェア3割を占めるといふ。ソウルに現地法人を設立し、韓国や中国、台湾などにも輸出している。

この日、境港に到着した初荷は、ソウルで製造された長さ6畳のアルミニウム

らが出席。吉川室長は「就航から約2年が経ち、日韓連携の象徴的な貨物が来た。航路継続のためにも地元企業の貨物が増えることを期待したい」とあいさつした。
(高井和道)